

施工実例 部分補修 (熱硬化)

7 部分補修 (熱硬化) … 伸縮一体型による施工実例

φ450 人孔よりの 200-150 一体型補修

状況



現場状況 洗浄工



φ450人孔…深さ1.30m



伸縮一体型…
φ200-150用
収縮時の全長…50cm



通常の一体型施工機
(200-150)との比較
全長…85cm

施工方法



200-150の補強繊維に
樹脂を含浸



伸縮一体型に補修材を巻き付け、
収縮させる



φ450人孔より、T字棒を
使って施工機を挿入



工事車側にて、施工機に
内蔵されたカメラ映像を
見ながら位置合わせを
行い、拡径・硬化させる

8 部分補修 (熱硬化) … 小口径排水管の木の根 / 段差

状況

工場内の排水設備
φ125において、段差部分に木の根が
侵入して、流域を阻害していた。



対策

一穴ノズルにて、木の根を除去後、段差が大きく、φ125用ちび弾丸では、施工が
難しいため、φ100用のロングタイプちび弾丸で40cm幅の施工を行った。



施工状況



使用機材
(φ100 ロングちび弾丸)



木の根除去中



除去した木の根



施工前



施工中



施工後